

小さな金棒を持った鬼が獅子を退治し五穀豊穡を祈願します



国見町

五穀豊穡を祈願して岐部社で子ども獅子舞

「子ども獅子舞」が、4月15日(土)・16日(日)の2日間、岐部社で奉納されました。

この獅子舞は、およそ600年前から伝わる伝統行事で、ある日のこと、オジカ・メジカ2頭の鹿が神の化身として鬼面相で現れ、田畑を荒らすイノシシを退治して豊作になったと伝えられています。

獅子舞は、毎年同社の春・秋の大祭で奉納されており、獅子と鬼に扮した子どもたちが、五穀豊穡を祈願して元気な舞を披露しました。



満開の桜の下でぜんざいに舌鼓を打つ参拝客の皆さん

国東町

割石地藏尊で桜祭り

桜の季節恒例となった寺山の割石地藏尊の桜祭りが4月2日(日)に催され、多くの参拝客で賑わいました。この日は、時折雨のふるあいにくの天気となりましたが、参拝した皆さんは思い思いに開運祈願をしていました。今年も割石地藏講の皆さんによるぜんざいが振るまわれ、自然がいっぱいの春の一日を満喫しました。



会場には各種露店が軒を連ね、多くの人で賑わいました



吉美会の皆さんによる「安来節 銭太鼓」のようす

安岐町

安岐ダムさくらまつり

4月9日(日)、安岐町の春の風物詩「安岐ダムさくらまつり」が安岐ダムいこいの広場で開催されました。この日は、同ダム周辺に植えられた約3,000本の桜が満開となり、県内外から多くの花見客が訪れました。

会場内に設置された舞台では、「フラダンス」のオープニングに続いて、舞踊やカラオケが披露され、盛んに拍手が送られました。

また、会場には各種露店が軒を連ね、多くの人で賑わいました。